


タイトル	「留山」の散策路利用	
概要	留山とされることで残った豊かな森林環境を保全しながら楽しむための木道やガイド制度を創出。	
管理方法・技術的視点	<p>標高160～180mほどの低山地帯で人里に近い里山林が留山として設定されており、ブナを中心にブナやミズナラの森が残されている。この里山林に木道を設置し、地元案内人(ガイド)を依頼することで、散策に利用できるようにしている。散策路は全長850メートルが整備されており、平成16年には県立自然公園に指定されている。</p> <p>秋田県が設置し、管理運営を八峰町で行っている「あきた白神体験センター」では、パンフレット「留山を知ろう」を発行している。留山の歴史、生物多様性、水源涵養や防災など多面的機能について紹介しながら、子どもたちから大人まで留山の魅力を体験できるプログラムを用意している。</p>	
備考	<p>八峰町の留山は里山でありながら天然のブナ林が残っている珍しい場所となっている。</p> <p>ここが留め山になった時期ははっきりしていないが、木材需要が高かった藩政時代に乱伐のため川が枯れてしまい、水田耕作に支障をきたすこととなった。このため、水源確保を目的として、一帯の広葉樹を伐採しない「留山」とする取りきめがなされたと言われている。</p>	
場所・主体	秋田県八峰町・あきた白神体験センター	
URL等	http://www.town.happou.akita.jp/ http://www.town.happou.akita.jp/taiken/index.html	

留山散策のためのパンフレット